

カスケード沈み込み帯における巨大地震について

参考資料7

- アメリカの北西部及びカナダ南西部の太平洋岸では、ファンデフカ・プレートが北米大陸の下に沈み込んでおり、カスケード沈み込み帯と呼ばれている。
- 歴史記録に大地震の発生は記録されていないが、地質学的な古地震調査の結果、過去に巨大地震が発生したことを示す痕跡が発見されている。
- 日本においても津波が到達した記録が残されている。

＜カスケード沈み込み帯における大地震の概要＞

(最新の地震の発生時期)

発生年：1700年

規模：Mw 9.0

(長さ1,100kmに及び断層面が14mずれた)

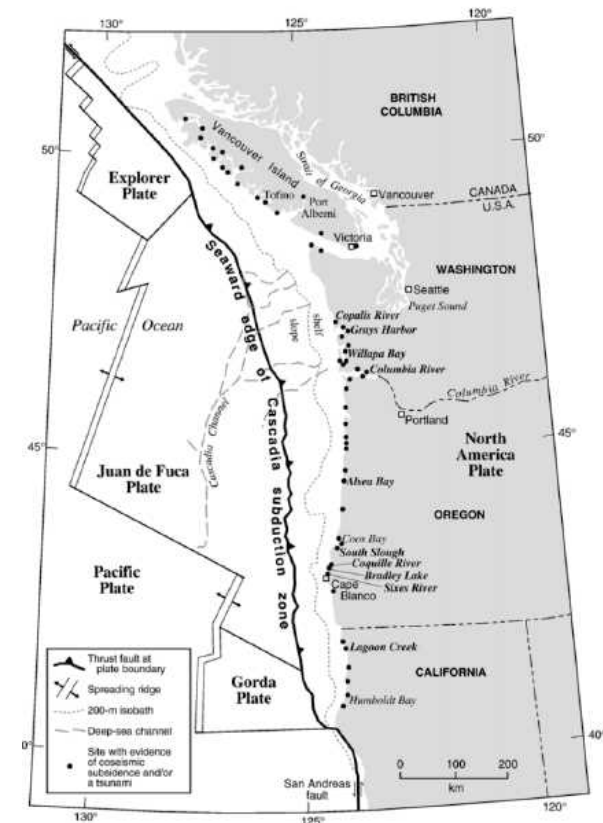
(これまでの発生頻度)

過去約7,000年間に13回の地震が発生

※平均すると約500年に1度程度

※過去10,000年では41回(約240年に一度程度)

うち半分がM9クラスの地震とされる



カスケード沈み込み帯の位置
(黒丸は古地震痕跡が発見された場所)